

第3次福岡市動物愛護管理推進実施計画 令和5年度実施状況

1 数値目標と実績

目標 1 殺処分頭数		
犬(令和2年度 10頭)		<u>5頭以下</u> (令和13年度まで)
猫(令和2年度 234頭)		<u>100頭以下</u> (令和13年度まで)
令和2年度実績の概ね2分の1		
実質的殺処分ゼロを継続するとともに、収容頭数の削減や譲渡の推進により、重篤な病気等を理由としたやむを得ない殺処分などの更なる削減を目指します。		

【実績】

犬

年 度	1	2	3	4	5
収容後死亡	5	4	3	0	2
譲渡不適	25	6	1	0	3
実質的殺処分	0	0	0	0	0
殺処分計	30	10	4	0	5
譲渡	59	30	52	28	25

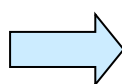
猫

年 度	1	2	3	4	5
収容後死亡	64	43	45	38	39
譲渡不適	202	191	124	170	129
実質的殺処分	0	0	0	0	0
殺処分計	266	234	169	208	168
(うち子猫)	(213)	(179)	(115)	(109)	(97)
譲渡	138	119	171	92	127

目標 2 犬猫の収容頭数

犬(令和2年度 104 頭)

猫(令和2年度 361 頭)



50 頭以下 (令和13年度まで)

180 頭以下 (令和13年度まで)

令和2年度実績の概ね2分の1

飼い主責任の徹底や飼い主のいない猫のみだりな繁殖の防止などにより、収容頭数削減を目指します。

【実績】

犬

年 度	1	2	3	4	5
捕 獲	30	11	17	7	7
引取(飼い主)	24	16	28	18	9
引取(飼い主不明)	104	75	75	48	55
負 傷	1	2	1	0	0
収容計	159	104	121	73	71
返 還	76	65	58	45	44

猫

年 度	1	2	3	4	5
引取(飼い主)	8	17	6	77	71
(うち子猫)	(0)	(0)	(0)	(8)	(1)
引取(飼い主不明)	342	292	296	204	186
(うち子猫)	(306)	(267)	(249)	(162)	(162)
負 傷	65	52	50	38	41
(うち子猫)	(22)	(16)	(12)	(10)	(16)
収容計	415	361	352	319	298
(うち子猫)	(328)	(283)	(261)	(180)	(179)
返 還	11	8	9	5	9

目標3 苦情件数

令和2年度 苦情件数

犬猫合計 618 件



300 件以下 (令和 13 年度まで)

令和2年度実績の概ね2分の1

飼い主責任の遵守や飼い主のいない猫への不適切な給餌などによる迷惑防止の指導啓発により、苦情件数の削減を目指します。

【実績】

年度	1	2	3	4	5
犬	148	155	165	169	157
猫	407	463	400	318	228
合計	555	618	565	487	385

目標4 犬の登録と狂犬病予防注射

飼育されている犬すべての登録と年1回の狂犬病予防注射の実施

(令和 13 年度まで)

【実績】

年 度	1	2	3	4	5
累計登録	69,862	71,412	73,463	62,878※	63,619
新規登録頭数	5,060	5,617	5,645	5,220	6,286
注射実施頭数	36,505	36,649	37,960	39,212	40,003
注射実施率 (%)	52.3	51.3	51.7	62.4	62.9

※狂犬病予防法施行令の改正により所在不明の犬の登録データの削除を実施

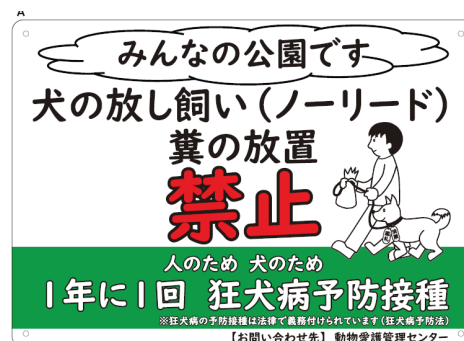
2 具体的施策の令和5年度の実施状況

動物愛護・適正飼育の推進

1 飼い主責任の啓発

- 犬の狂犬病予防注射や市民からの苦情が多く寄せられる犬の放し飼いと糞の放置について、啓発看板を作成し、市内の公園に設置しました。

- ・設置公園数 109、設置枚数 203 枚



2 不妊去勢手術の徹底

- 福岡市獣医師会との共働事業として、飼い猫の不妊去勢手術とマイクロチップの装着を同時に行う際の費用の一部助成を行いました。

- ・募集頭数 200 頭、支援頭数 196 頭、助成額 7,500 円/頭

3 ワンヘルスの推進

- ワンヘルスに関するパネル展示や、啓発冊子の配布を行いました。

- ①環境局主催「生きものと私たちの暮らし展」

- 令和5年5月17日～5月23日、福岡市役所1階多目的スペース

- ②動物愛護週間行事「動物愛護に関するパネル展」

- 令和5年9月20日～9月26日、福岡市役所1階多目的スペース

- ③保健環境学習室「まもる一む福岡」でのパネル展示

- 令和5年3月1日～5月末、9月20日～9月26日

飼い主のいない猫問題対策

1 収容頭数削減のための取組み

- 動物愛護管理センターの収容頭数の多くを占める、飼い主のいない猫の繁殖制限を推進するため、「飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進モデル事業」を開始しました。

- 実施主体

- 飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進協議会

- (構成：福岡市、福岡市獣医師会、ねこ99福岡、ライフリレー博多ねこ、

- [sakuraneko])

○支援内容

不妊去勢手術無償実施、捕獲器の貸出、猫の捕獲、動物病院への運搬等

○協力動物病院 37 病院

○令和 5 年度支援予定頭数 500 頭

【手術支援実績】

区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	合計
支援件数	3	5	2	9	3	5	7	34
手術頭数	27	110	39	154	18	74	92	514

2 地域猫活動の支援方法の検討

■地域の飼い主のいない猫問題解決のため、不妊去勢手術の無償実施や地域説明会の実施などの支援を実施しました。

【地域猫活動への支援実績】

年 度	30	1	2	3	4	5
不妊去勢手術頭数	96	247	294	367	233	159
新規指定地域数	3	5	9	6	10	4
更新支援地域		5	5	12	15	21

■今後の支援方法等検討のため、過去の支援地域の現状調査を実施しました。

○調査地域：27 地域

- ・前回調査（H30）で活動中と回答のあった地域
- ・前回調査（H30）後に支援終了となった地域

○回答地域：15 地域

○調査結果(参考資料①)

- ①活動開始の目的は「不妊去勢手術」「苦情・トラブル解決」
- ②多くで「猫の減少」「苦情トラブルの減少」の効果あり
- ③「ルールに沿った給餌」「不妊去勢手術」「トイレの設置や清掃」の全てを継続している地域は半数程度
- ④猫の流入等の問題から、不妊去勢手術の継続的な実施が必要

○総括

「猫の頭数」や「苦情トラブル」の減少などの効果がみられていることから、長期にわたる活動で一定の成果が出ている反面、活動の煩雑さや長期化に伴う疲労感、利用しやすい手術支援を望む声が活動地域から多く寄せられている。

そのため、地域猫活動の支援の内、手術支援については、「飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進モデル事業」を活用するなど、活動者の負担を軽減するための方法を検討する。

3 飼い主のいない猫への不適切な給餌防止対策

■市民からの指導依頼を受け、不適切な給餌行為を行っている者に対し、指導を行いました。

【飼い主のいない猫に関する苦情内容と件数】

不適切な給餌	62
糞尿など	82
車など物への被害	16
庭・ゴミを荒らす	6
鳴き声	3
その他	16
合計	185

■周辺の生活環境に影響が及んでいるにも関わらず、口頭指導により改善がみられない場合は、給餌者へ改善指導票を交付しました。

交付件数 1件

譲渡の推進

1 譲渡事業の充実

■譲渡候補犬猫や譲渡犬を一般家庭での生活に慣らすため、収容期間中にボランティアに預けて飼育する「預かりボランティア制度」を実施しました。

- ・登録ボランティア 7名
- ・預け実績 犬5頭、猫14頭

■譲渡犬猫の譲り受け希望者の中に、先住動物との相性や動物アレルギーなどに不安を覚える方がいるため、不安の解消を図るとともに、譲渡後の問題発生を防止することを目的に、譲渡前に一定期間ならし飼育を行う「飼育トライアル」を実施しました。

トライアル実績 猫22頭（うち譲渡18頭）

■攻撃性など健康状態以外の問題から譲渡不適と判定された犬について、譲渡の機会を広げるため、動物愛護管理センター職員や登録ボランティアによるトレーニングを実施しました。

- ・トレーニング実績 犬4頭
- ・結果 譲渡 1頭、殺処分 1頭、継続中 2頭

1 関係機関との連携

- 地域包括支援センターが主催する個別支援会議に参加し、多頭飼育に陥った高齢者の事例について協議を行い、関係機関と連携して対応を行いました。
・対応事例 6件

2 多頭飼育問題防止のための啓発

- 苦情対応等で把握した多頭飼育の飼い主に対し、福岡市が定める多頭飼育の届出制度について説明を行い、提出を促しました。

【多頭飼育届出状況】

年度	犬のみ	猫のみ	犬と猫	計
1	1	—	—	1
2	5	—	2	7
3	3	4	1	8
4	0	0	2	2
5	1	0	1	2
計	10	4	6	20

- 猫の多頭飼育により「飼い主の生活状況の悪化」、「猫の状態の悪化」、「周辺の生活環境の悪化」といった問題が生じている猫の多頭飼育者に対し、不妊去勢手術の支援を行いました。

○飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進モデル事業

- ・令和5年度支援予定頭数：100頭

【手術支援実績】

区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	合計
支援件数	2	1	0	0	0	4	1	8
手術頭数	23	18	0	0	0	30	5	76

3 問題のある多頭飼育者への指導啓発

- 近隣からの苦情があった多頭飼育者に対し、適正飼育や不妊去勢手術の必要性などについて指導を実施しました。

【多頭飼育の苦情件数】

年度	犬			猫		
	戸建て	集合住宅	計	戸建て	集合住宅	計
1	1	—	1	4	3	7
2	1	2	3	13	4	17
3	2	0	2	12	3	15
4	1	0	1	4	2	6
5	0	0	0	5	3	8

監視指導

1 動物取扱業者の監視指導

■動物取扱業の登録等を行うとともに、第一種動物取扱業者については、飼養管理基準等の遵守状況を確認するため、施設への監視を行いました。

【動物取扱業の件数、監視実績】

年度			1	2	3	4	5
第一種動物取扱業	登録件数	販売	173	197	191	190	192
		保管	317	337	350	347	356
		貸出し	16	17	20	19	20
		訓練	46	48	47	41	39
		展示	48	55	57	58	56
		譲受飼養	3	4	2	3	3
	施設実数		468	516	523	518	520
	監視施設数		251	248	152	198	170
動物取扱業 第二種	届出件数	譲渡	9	10	12	14	14
		保管	3	3	3	3	3
		訓練	1	1	1	1	1
		展示	1	1	1	1	1
	施設実数		9	10	12	13	14

■第一種動物取扱業の登録（特定動物の飼養許可）手続きについて、利便性向上のため、オンライン申請の受付を開始しました。

・実績 第一種動物取扱業 29 件、特定動物 0 件

マイクロチップ装着の推進

1 所有者明示とマイクロチップ装着の推進

■犬猫のマイクロチップ装着を推進するため、飼い犬、飼い猫にマイクロチップを装着する際の費用の一部助成を行いました。

・募集頭数 100 頭、支援頭数 26 頭、助成金額 1,500 円/頭

■環境省にマイクロチップの情報登録を行った犬について、マイクロチップを鑑札とみなす、「狂犬病予防法の特例制度」に参加しました（令和5年3月1日～）。

・R5年度の特例による新規登録頭数 4,964 頭

【特例制度参加による飼い主メリット】

○窓口での手続きや登録手数料（3,000 円）が不要

○犬への鑑札装着が不要（鑑札紛失のリスクなし）

2 マイクロチップの登録情報の変更手続きの啓発

■動物愛護管理センターホームページや各種啓発イベント、犬猫の譲渡講習時に、マイクロチップ登録情報の変更手続きについて啓発を行いました。

狂犬病予防

1 集合注射のあり方検討

■実施率向上のため、ホームセンター等、人が多く集まる商業施設での集合注射の実施について検討を行い、令和6年度から市内のグッデイで集合注射を実施することにしました。

（参考R6）5会場（6日間） 437 件

2 指導啓発の充実

■市政だより、動物愛護管理センターホームページ、市 SNS、啓発イベントにおいて、狂犬病予防注射の周知啓発を行いました。

また、犬の適正飼育啓発看板を作成し、市内の公園に設置しました。【再掲】

3 死亡届や登録事項変更届の周知啓発

■市内に飼育実態のない登録台帳を整理するため、宛所不明の飼い主に電話し、飼育実態の確認を行いました。

4 狂犬病予防注射済票の交付のオンライン化

■注射済票交付手続きについて、利便性向上のため、オンライン申請の受付を開始しました。

・実績 済票交付 1,297 件、再交付 26 件

共働の推進

1 関係部署や関係機関との連携

■県警察本部と福岡県、北九州市、久留米市、福岡市の動物愛護担当部署との連携会議に参加し、情報交換を行いました。

2 動物関係団体等との連携及びボランティアの受入れ

■動物関係団体やボランティアと連携し、わんにゃんよかイベント、犬猫よろず相談などの啓発イベントを実施しました。

また、福岡市獣医師会、登録ボランティアとの共働により、動物愛護管理センターに収容された子猫を哺育し、離乳した後に譲渡する「ミルクボランティア事業」を実施しました。

【ミルクボランティア実績】

年度	ボランティア 増加数	哺育 頭数	哺育中 死亡等	譲渡済	動物病院 での譲渡
1	14	77(2)	5(1)	72(1)	65(1)
2	18	59	2	57	54
3	20	100	0	100	93
4	14	45	0	45	39
5	9	63	1	62	51
計	75	344(2)	8(1)	336(1)	302(1)

※（ ）は子犬の頭数

1 災害発生時の対応

■福岡市防災フェアに出展し、同行避難や備蓄品などペットの防災対策について啓発を行いました。

- ・開催日：令和5年11月3日
- ・場 所：福岡市役所ふれあい広場



■福岡市の指定避難所においては、ペットは人とは別のスペースで飼育することとなっているため、ペットと同室で過ごすことができるペット同伴者専用避難所の設置について、防災担当部署と検討を行いました。

2 狂犬病発生時の対応

■厚生労働省主催「九州・沖縄地区 狂犬病診断研修会」に生活衛生課職員を派遣し、狂犬病疑い事例や狂犬病発生時の対応の習熟に努めました。

- ・期日：令和6年1月31日～2月2日
- ・場所：宮崎大学